



いなほ

稲積神社社報

第31号

平成21年5月3日発行



正ノ木例大祭式次第

- 定刻 手水の儀 参進
- 次 修祓の儀
- 次 宮司一拝
- 次 宮司御扉を開く
- 次 禰宜以下神饌を供す
- 次 宮司祝詞を奏す
- 次 献歌
- 次 玉串拝礼
- 次 撤饌
- 次 宮司遷御の祝詞を奏す
- 次 遷御
- 次 宮司発御の祝詞を奏す
- 次 宮司一拝
- 次 御発

平成二十一年度正ノ木例大祭神賑行事(予定)

五月一日(金)

献木祭 午前十時

甲府商工会議所(境内) 二日(土)

前夜祭 午後六時(社殿)

飯野のり子歌謡ショー 午後六時(舞台)

三日(日)

大祭 午前十時

御輿渡御 午前十一時~午後四時

奉納相撲 午前十一時~午後三時

カラオケ大会 午後二時~

四日(月) 午後六時~八時

二ノ祭 午前九時

甲府囃子 午前十時~午後三時

コンサートSTUDIO bdg 午後二時~八時

五日(火)

三ノ祭 午前九時

童謡ちゃんこの会 午後二時~三時

コンサートヒコ 午前十一時~五時

成就祭 午後六時



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮



天皇陛下御即位二十年奉祝記念事業

宮神輿新調

宮司 根津泰昇

今年、天皇陛下御即位二十年の祝寿の年柄でございます。

宮神輿新調の計画をいたしました。従来の神輿は、湯田第一、第二自治会の町神輿を町民のご理解により三十年程前より担がせて頂いております。

六、七年前から神社の宮神輿を造りたい思いが、みこし会の睦会から提案されていきましたが、実現には至らず頓挫しておりました。

二年程前に、総代会、当神社の外郭団体会長会議の席上で、「天皇陛下御即位二十年奉祝記念事業」として後世に残せる事業をする事が可決され、「宮神輿新調事業」が再度浮上し、現実味を帯びてきたのであります。

百年に一度と言われる、

世界大恐慌になる前とは言え、世間も不況風が吹いておりましたので、この事業には賛否両論の意見交換がされました。

結論は、日本の伝統のよみがえりを祈り徹する年であるが故に、「皇室の弥栄」と「日本の祈り」を崇敬者に伝え、ひろめるのに尽させて戴く事が、意義ある記念事業である事を全員で確認し合い、実現に向け邁進したのであります。

四月三日に宮神輿が新調され納入されました。荘厳な神輿を、目の当たりにすると、長い間、お借り頂いた、湯田第一・第二の自治会に感謝の念が込み上げて参りました。

この町神輿がお借り出来、毎年担がれてきた過程が、この記念事業に繋がってきた事を思うと、心より感謝いたしました。ありがとうございます。

これまでお借りしている町神輿でしたので、神輿への御神魂の遷御は、分神魂（御神魂を幣串に移し遷御した御神魂）を遷御しておりました。

本年の五月三日の例大祭には、稲積神社四百三十年の歴史のなかで、御祭神の二柱大宮能売大神を宮神輿に遷御し、渡御するのは始めての事でありましょう。正に稲積神社の歴史に新たな歴史が刻まれる年でもあります。

稲積神社の御祭神は、宇迦之御魂大神と大宮能売大神の二柱が祀られています。宇迦御魂大神は、須佐之男命と神大市比売の間に生れた神。稲の魂の神であり、食物神であつても、特に稲の魂として代表される神様です。兄弟神である大国主大神が多くの神々と国作りをなしたことを伝えるのに係り、その神々の食を司どる宇迦御魂大神の存在は多大であるが故に、是非とも祀らねばならぬ神格であつたに違いないでしょう。

本年より宮神輿に遷御される、大宮能売大神は、高天原では天照大神の御前に侍し、地上では天皇の傍近する神です。すなわち天皇の御心を安らげるような任務を帯びている神様であります。ですから宮中三殿の神殿には天皇の玉

体を直接お護りになる八神が奉られております。その一神であり、天皇の御側に侍し靈魂の御荒びを和め奉る神として奉られています。別名天鈿女命と申し、天岩戸の神話で舞を踊られた神様ですので神楽舞踏の始祖とも言われております。

大宮能売大神を、宮神輿に遷御する謂われは、「天皇陛下御即位二十年奉祝記念事業」として神様のご神徳に相応しい事に所以してあります。

この記念事業が、ご神縁を頂き、ここに完遂された事に感謝申し上げますと共に、崇敬者各位の平安安泰をご祈念申し上げます。

本年より宮神輿に遷御される、大宮能売大神は、高天原では天照大神の御前に侍し、地上では天皇の傍近する神です。すなわち天皇の御心を安らげるような任務を帯びている神様であります。ですから宮中三殿の神殿には天皇の玉



かわせみ提供

祭典行事歴

(五月〜十二月)

毎月	一日	月始祭
	三日	月次祭
	十五日	神恩感謝祭
		古神礼
		焚上げ祭
五月一日		献木祭
二日		正ノ木大祭前夜祭
三日		正ノ木例大祭
四日		大祭特別祈願祭
五日		二ノ祭
		三ノ祭
六月六日		正ノ木大祭終了祭
		お田植祭
七月十五日		夏越大祓・万灯祭
八月		瘡子社例祭
九月		富士ヶ嶺開拓祭
十月十一日		崇敬会大祭
		金刀比羅神社例祭
		抜穂祭
十八日〜二十日		
		甲府伊勢講千社詣の旅
		樽前山神社正式参拝とロマ
		ンチックシティ函館・道南
		をめぐる湯の川・登別温泉
		二泊三日の旅
十一月二十三日		新嘗祭
十二月六日		境内清掃奉仕
三十一日		年越大祓
毎月一日、三日、十五日には		

神社にお参り

しましう!!

命継ぐ食もの衣もの住むいへも 稲荷の神の恵なりけり

当神社は衣・食・住を司る生活の守護神をお祀りしておりますが昔からある衣食住のこトばを知って得することは語源を紹介いたします。

衣

一張羅 一挺蠟
持つている衣服のなかで一番上等のもの。
とっておきの晴れ着、一枚しか持っていない着物「いちよらいい」ともいう。

語源 「一挺蠟」がなまったものといわれる。「灯し替えができない一本だけの蠟燭」の意からきている。また「ただ一枚の羅(うすぎぬ)」からという説もある。

普段着 不断着
日常生活で着る衣服のこと。語源 「普段着」と書くのはあて字。もとの意味は「不断着」で絶え間なく着る衣服のこと。「晴れ着」の反対語で古語では「藝の衣」といった。

衣服ことばの比喩成句

御裾分け
もらった物や利益の一部を

人に分け与えること。語源 「御」は接頭語で、「裾」は衣服の末端にあることから、「ごくわずか」の意味に転じて、わずかなものを分け与える比喩を表すようになったという。

大袈裟
物事を実際より大きくいたり誇張したりするさま。大仰。語源 「大きい袈裟」からきたことば。鎌倉時代初め、栄西が中国から禅宗の臨済宗を伝えた。この禅僧たちが大きな袈裟を着て京の町をのし歩けばかりか、大声で説話を話したりするさまが、実に大仰に聞こえたため、このことばが生まれたという。

食

餡転餅 餡転ばし餅
外側に餡をくるんだ餅、江戸時代には、すすはらいのときの間食や贈り物にされたという。あんころ、あんもち、あんころばし。

語源 餡の中へ餅を転ばして外側に餡をつける意の「餡転ばし餅」の略をいう。また、

餡の衣をつける意の「餡衣餅」の略とする説もある。

外郎

米の粉に黒砂糖などで味つけた蒸し羊羹。名古屋、山口の名物として知られる。語源 もとは痰を切り口臭を消す薬の一種の名で、「外郎」はこれを元から日本に帰化して伝えた陳宗敬の官名「礼部員外郎」からとったもの。「うい」は唐音。この外郎菓は、江戸時代には、小田原の名物として有名だった。そこで、この苦い菓の口直しとしてつくられた蒸し羊羹を「外郎」と名づけたとも、色が菓に似ていたからともいわれる。

知つ得 歌舞伎十八番の一つである「外郎売り」は、外郎菓を売り歩く者の宣伝文句を聞かせるもの。

生一本 純粹ひとすじ

純粹で混じり気がないこと。転じて性格がまっすぐで、物事にひたすら打ちこんでいくさまをいう。

語源 「生」は「生(いき)」の変化したものといわれ、人の手が加わっていない物を意味し、転じて混じり気のないうい意味が加わった。「一本」はそれひとすじの意で、「二本気」「二本槍」などと同類のことば。

知つ得 「灘の生一本」のよう

に、日本酒で「生一本」と表示するには、日本酒造組合中央会で定められた次のような品質基準がある。「原料は米と米麴だけであること。しぼってから水を加えていない原酒であること。自分の蔵でつくった酒であること。」

舍利 仏舍利

米粒、おもに白米についていう。「銀舍利」ともいう。語源 もとは的屋の隠語で、のちに鮪屋でも使うようになった。「しゃり」は、仏教用語の「舍利」からきたことばで、遺骨、特に仏や聖人の遺骨を表す。また「仏舍利」は釈迦の遺骨のこと、大麥尊ばれた。日本人の主食であり、経済の要であった米は仏舍利と同じように尊いもので、仏舎利の化身であると考え、「舍利」と呼ぶようになったという。ほかに、白い遺骨の「どの仏」の形が白米によく似ているからという説もある。

語源 語源も諸説ある。「いえ」は古くは「いへ」と書く「いえ」

住

家 寝戸

人が住むための建物のほか、多くの意味をもつ。自宅、家庭、家系、家柄など。

語源 語源も諸説ある。「いえ」は古くは「いへ」と書く「いえ」

は「寝」で、「へ」は「戸」で、合わせて寝る所を意味するといふ。また、「寝」に「籠」を加えて籠がある寝る所の意から、「いへ」は接頭語、「へ」は容器で、人間を入れる容器の意とする説などがある。

大黒柱 大黒天

家の中心部にある、もつとも太い柱。主要な梁をこれにかけ、家の上屋の重みを支えるようにして、揺れた場合にもいびつにならないように工夫されている。転じて、一家を支える人や国を背負って立つ人などにもいう。

語源 日本の家屋では、家の芯となっている柱の片側には、必ず台所が置かれていた。そして、ふつう柱のすぐ脇に、食べ物の神である大黒天がまつられている。そこでこの柱を大黒柱と呼ぶようになったという。ほかに、大極殿の「大極柱」から、または「太極柱」からなどの説もある。

知つ得 仏教では、もともと「大黒天」は三宝(仏・法・僧)の守護神で、戦闘をつかどった中国、日本では食物の神としてまつられ、さらに七福神の一つで、福德や財宝をもたらす神として民間の信仰を集めている。日本では出雲神話の大国主神と結びつけられた。

甲府伊勢講千社詣りの旅

ご案内

樽前山神社正式参拝とロマンチッククシテイ函館・道南をめぐる、湯の川、登別温泉二泊三日の旅

—世界三大夜景、函館山夜景鑑賞満喫—

Table with 3 rows (10/18, 10/19, 10/20) and 2 columns (Route/Time, Status) detailing the travel itinerary.

交通機関並びに時刻・見学地等が変更になる場合があります。
○ご宿泊予定ホテル：10月18日(日) 湯の川温泉 平成館 海羊亭 (☎0138-59-2555)
10月19日(月) 登別温泉 ホテルまほろば (☎0143-84-2211)

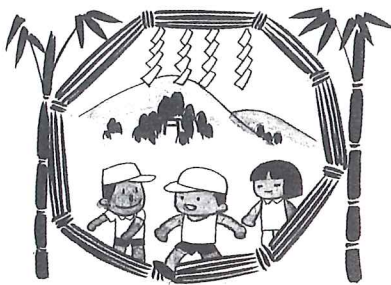
旅のみどころ

【函館山夜景】津軽海峡に突き出すようにそびえる山頂からは、宝石を散りばめたようなナポリ、香港とならぶ世界三大夜景の絶景が広がります。
【函館八幡坂】坂の街・函館の中でテレビCMなどに使われる有名な坂。坂の上からは石畳の坂の先に、函館湾や摩周丸が臨め、港町らしい風情あふれる光景を見させてくれます。
【大沼公園】駒ヶ岳の裾野、火山爆発で堰きとめられた3つの湖が鏡のように美しい湖面を見させてくれます。
【昭和新山】昭和18年の噴火で突然麦畑が隆起し、その2年後には最高406mの高さにまで成長した火山。
※稲積神社崇敬会会員の方は旅行代金1,000円割引券をご用意させていただきます。

ご家族ご友人お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。
旅行期間 平成二十一年十月十八日(日)～二十日(火) 二泊三日
旅行代金 一人 八五、〇〇〇円
募集人員 一、二〇名
お申し込みお問い合わせ先 伊勢講世話人又は神社々務所まで。

夏越大祓式の御案内

大祓は六月三十日と十二月三十一日の年二回、半年毎に全国の神社で執り行われ、私たちが知らず知らずのうちに犯した罪汚れを祓い清める神事です。
特に六月の祓は「夏越の祓する人は千歳の命延ぶ」と謳われているようにちの輪をくぐり邪気を祓い暑い夏を元気で過ごせるようお願いが込められています。
当社でも六月三十日に午後五時に齋行致しますので是非御家族お揃いで御参拝下さいますよう御案内申し上げます。
詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。



崇敬会大祭ご案内

平成二十一年崇敬会大祭
記念式典
記念講演
懇親会

崇敬会々員募集

◎会費(年会費)
会員 五千元
正会員 一万円
特別会員 二万円
入会申込は、御参拝の折に社務所受付にて申込まれるか崇敬会入会申込書に御住所御氏名等を明記の上、郵送かFAX又はホームページから申し込み下さい。

今上陛下御即位二十年奉祝記念事業

宮神輿新調なる
多くの崇敬者、神社外郭団体の皆様の御協賛により目度く事業完遂をみる事が出来ました。心より御礼申し上げます。(表紙写真)

人の動き

帰幽
元権禰宜 山口雅夫氏
平成二十年十二月十五日
享年八十二歳



同氏は平成三年五月一日初任以来平成十九年八月三十一日まで神明奉仕に尽された。
特に剣道師範として青少年健全育成に生涯を掛けられた又神職保護司として更生活動にも尽力された事は当社社はもとより斯界に多大な功績を残された。
ここに謹んで御冥福を御祈り申し上げます。

雅楽(ががく)

始めてみませんか。
稽古日 毎週水曜日
午後五時から
稽古場所 神社参集殿

稲積神社

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり
正ノ木稲荷大明神
甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055)233-5573
FAX (055)226-0787